

公共交通に関する住民グループインタビューの調査結果

1 目的

1 目的

ダイヤ改正のニーズ調査として、**地域ごとの個別具体的な要望等を定性的に把握することを目的に、各小学校区でグループインタビューを実施した。**

2 調査概要等

開催日	令和5年7月15日(土)、7月16日(日)、8月5日(土)
開催場所	各地区コミュニティセンター及び県営東浦住宅集会所
対象	7小学校区(森岡、緒川、卯ノ里、片葩、石浜西、生路、藤江)の住民
参加者数	計64名(森岡:12名、緒川:8名、卯ノ里:11名、片葩:6名、石浜西:10名、生路:9名、藤江:8名)
年代別	学生:0名、18~39歳:0名、 40~59歳:7名、60代前半:2名、60代後半:13名、70代前半:17名、70代後半:9名、80歳以上:16名
内容	<ul style="list-style-type: none"> ● 住民の公共交通に対する意識、利用状況、政策への意向を把握するため、グループインタビュー形式でヒアリングを実施した。定員は10名程度、ヒアリング時間90分程度である。 ● 全体の流れは「1 地域公共交通の現状・課題(説明)」、「2 参加者の自己紹介」、「3 テーマ別意見交換会」、「4 感想用紙の記入・提出」としている。
主な意見 まとめ	<ol style="list-style-type: none"> ① 東浦郵便局やスギ薬局に行くときに使いたいので、長寿線の「緒川コミュニティセンター」と「JA 東浦支店」との間にバス停が欲しい。 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 半田警察署、周辺施設、運行事業者との調整を進める。 ② 病院の帰りの時間にばらつきがあるため、「長寿医療研究センター」及び「刈谷豊田総合病院」から緒川駅方面に帰る昼間~13時台の便が欲しい。 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 午前中に運転手の休憩時間を長く取るなどして、現行の「病院の発着時刻を遅くすること」で実現できるが、他路線との乗り継ぎにも影響が出るため、優先順位をよく考えて決めなければならない。 ➢ 緒川小学校と藤江小学校の下校便もあるため、下校の時間帯にバスを持っていくための調整も必要になる。 ③ 「う・ら・ら」が運行していない9時台~10時台の緒川新田地区から緒川駅方面の移動を確保してほしい。 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 現行ダイヤと大きく変更しない(環状線を維持する)場合、「東浦高校線(於大公園南経由)」を「環状線(右回り)」に転用することで対応可能と見込まれる。

	<p>④ 知北霊園に乗り入れて欲しい。現在、行きは「げんきの郷」経由で大府市のバスに乗り換えて行くが、帰りは東浦町のバス停まで徒歩で移動している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ 知北霊園に乗り入れるとなると、バス停「東浦知多インター西」から知北霊園まで往復8～10分程度かかる。1便当たりの所要時間が伸びると減便にもつながるため、優先順位をよく考えて決めなければならない。 <p>⑤ 巽ヶ丘駅に乗り入れて欲しい。平日は9時45分発が終わると、次便が16時41分発になる。午前中に出かけて、帰ってくる便があると良い。</p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ 巽ヶ丘駅への乗り入れについては、ロータリー等を所有している民間バス事業者と調整中。乗り入れするには、民業圧迫とならないように運賃の統一（減収補填）等の対応が必要なため、町負担は増加する見込みである。 <p>⑥ 尾張森岡駅・石浜駅に乗り入れて欲しい。住宅地から駅まで遠いわけではないが坂道であるためバスを使いたい（石浜駅前にはクリニックなどもある）。</p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ 尾張森岡駅については、最寄りバス停「森岡」から300m（徒歩4分）の距離であることや、ニーズがなかったことから、乗り入れしてこなかった。 ➤ 石浜駅は利用が少なかったため、令和元年10月のダイヤ改正のタイミングで撤去した。 ➤ コミュニティセンター等にシニアカー置き場を整備し、個人で移動していただくか、グリーンスローモビリティ（低速電気バス）を地域の方に運転していただく等の方法がある。 <p>⑦ 通勤用に朝早い便と、退勤用にもう1便ほど遅い便があると良いのではないかな。</p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ 運転手の労働時間による制限があり、現在の1人体制では実現できない。町負担が大きくなるが、2人体制での運行が可能であれば実現できる。なお、運行委託のうち人件費が占める割合は6割と言われている。 <p>⑧ 環状線（左回り）の経路を、「守宮橋」の交差点を直進し、須賀川沿いに南下、前田クリニックの前を通るように西に進み、現行の環状線のルートに合流するのはどうだろうか（右回りでは逆回りに運行する）。</p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ 半田警察署、周辺施設、運行事業者との調整を進める。
--	--

2 調査結果

1 森岡小学校区

開催日時	令和5年8月5日（土）午後1時30分～
開催場所	森岡コミュニティセンター
対象	森岡小学校区の住民
参加者数	12名

年代別	学生：0名、18～39歳：0名、 40～59歳：3名 、60代前半：0名、 60代後半：3名 、 70代前半：6名 、70代後半：0名、80歳以上：0名
個別テーマ	<p>① う・ら・ら（移動ニーズ、キャッシュレス決済）</p> <p>② 知多バス（大府線の平日・休日利用）</p> <p>③ 19時台～21時台の移動ニーズ（夜間定額乗合タクシーの利用可能性）</p>
主な意見	<p>① 通勤時間帯に緒川駅まで運行していると便利だと思うが、通勤時間帯は渋滞があるため、各バス停の発着時刻が読めないと思う。</p> <p>② 東浦郵便局やスギ薬局に行く際に便利になるので、長寿線の「緒川コミュニティセンター」と「JA 東浦支店」との間にバス停が欲しい。</p> <p>③ 長寿医療研究センターの玄関前にバスを停めてほしい。 ➤ 救急車、障害者の方が利用する自家用車、タクシー、バスといった優先順なのでバスが離れている。</p> <p>④ イオンモール東浦から森岡に帰る最終バスが18時台では早い。最終バスは長寿医療研究センターやげんきの郷に乗り入れなくてよいので、もう一便ほど増やしてほしい。 ➤ 運転手の労働時間による制限が大きいです。現在は運転手1人体制で運行できる最大に近い時間で運行しているため、現体制で遅い便を追加するのは難しいが、2人体制での運行なども検討する必要はある。なお、来年から運転手の労働時間の制限がさらに厳しくなるため、現状の運行を保つのも困難になる可能性がある。</p> <p>⑤ 夏季は昼間の外出が危険であるため、サマータイムで夏と冬の運行時間を変更してみるのはいかがでしょうか。 ➤ 田舎などで導入されているところはあるが、時刻を間違える人が多い。</p> <p>⑥ 緒川駅から森岡に向かう長寿線は、11時30分発の次が13時30分と2時間ほど間隔があいてしまう。昼間も運行してほしい。イオンモール東浦で買い物をして帰る際は荷物も多いので、2時間も間隔があいてしまうと困る。 ➤ 運転手の休憩時間がある。また、他路線との乗り継ぎがあるのでこれらの調整により時間があいている。間隔を詰めると他にしわよせがいくため、優先順位を考えながら検討する必要がある。 ➤ 運転手を2人体制にすればこの間隔も短くすることができる。ただし、運行委託費の6割ほどが人件費であるため、町の金銭的な負担は増える。本数を増やすためには財政部局だけでなく、議会などからの理解を得る必要がある。</p> <p>⑦ 尾張森岡駅に乗り入れてほしい。「森岡」のバス停から「ドミー東浦店」への右折は時間がかかる。森岡南の交差点で右折せずに直進して、CoCo 壺番屋の交差点を左折するのはどうか。森岡南の交差点は右折待ちが多いため、直進した後に合流した方が早い時もある。</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 尾張森岡駅にバス利用者が多いのか。また、乗り入れてもバスから武豊線にすぐ乗り継げるかは別。バス停を置けるかも含めて検討する。
アンケート	<ol style="list-style-type: none"> ① 尾張森岡駅の近くにバス停を作れないか。夜間の運行があれば使う人も増えると思う。 ② 乗ったことがない人が多いのに驚いた。まずは知ってもらうことから始めるためにも、「う・ら・ら」を使って楽しいバスツアーを計画してみてもいい。 ③ 保育園や小学校の子ども達を「う・ら・ら」に乗せ、教育につなげる企画があれば良いのでは。 ④ 加藤先生の話はとても面白く、有意義だった。 ⑤ 免許返納者などに利用方法の勉強会を開催してもらいたい。 ⑥ 「う・ら・ら」を使った町内のイベントを開催し、町内を知る企画を考えてもらいたい。 ⑦ 今回のグループインタビューは有意義だった。色々な話を聞いてもらい、実行に移していくこの過程が楽しかった。

2 緒川小学校区

開催日時	令和5年7月16日（日）午前10時～
開催場所	緒川コミュニティセンター
対象	緒川小学校区の住民
参加者数	8名
年代別	学生：0名、18～39歳：0名、40～59歳：0名、60代前半：0名、 60代後半：1名、70代前半：2名 、70代後半：0名、 80歳以上：5名
個別テーマ	<ol style="list-style-type: none"> ① う・ら・ら（移動ニーズ、キャッシュレス決済） ② 知多バス（刈谷中部空港線の利用） ③ 19時台～21時台の移動ニーズ（夜間定額乗合タクシーの利用可能性）
主な意見	<ol style="list-style-type: none"> ① 刈谷豊田総合病院から緒川駅方向に帰る昼間の便が欲しい。11時44分発の次が13時39分であるため、この間隔を短くできないか。11時台だと診察や薬をもらうのに間に合わない。 <ul style="list-style-type: none"> ➤ 運転手の労働時間による制限が大きい。また、運転手の昼休憩もある。 ② 長寿医療研究センターから13時台に帰って来られるとよい。 <ul style="list-style-type: none"> ➤ 病院の発時刻を遅くすることで実現できるなら、午前中に取り運手手の休憩時間を長くすれば良い。ただし、他路線との乗り継ぎに関する調整もあるため、優先順位を考慮した上での決定となる。また、緒川小学校と藤江小学校の下校便もあるため、この時間帯にバスを持っていくための調整も考えなければならない。 ➤ 大府市や民間バスが病院から大府駅までの区間を運行しているため、JR経由であれば大府駅まで帰ってくる事ができる。他の公共交通機関

	<p>の利用も併せて検討することも必要。</p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ 乗り換えが体力的に厳しい。今後は介護保険などによる送迎も検討している。 <p>③ 緒川小学校の近くにバス停が欲しいといった意見を聞いた。要望を出された方は足腰が悪い方で、長寿医療研究センターに行きたいと言っていた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ 狭路のためバスが入れないため、シニアカーで緒川コミュニティセンターまで来ていただき、コミュニティセンターにシニアカー置き場を設けることでバスに乗り継げるようにするのはどうだろうか。これらの実現には地域の協力が必要になる。
アンケート	<p>① 緒川小学校南の停留所はもう少し広いと良い。</p> <p>② (発着)時間を見て、刈谷に行っている。日常使いに便利だと思う。</p> <p>③ 緒川古流作の地域は、366 バイパスを挟んで最寄りの緒川駅まで 500m 程度だが、高齢化が進み、免許返納などでバスが利用したくても不便を感じている。地区内や北新田信号の一本東に入った辺りに来てほしい。</p> <p>④ 刈谷豊田総合病院への利用で、空港線(刈谷中部空港線)は利用できないか。</p>

3 卯ノ里小学校区

開催日時	令和5年7月15日(土)午後1時30分～
開催場所	卯ノ里コミュニティセンター
対象	卯ノ里小学校区の住民
参加者数	11名
年代別	学生：0名、18～39歳：0名、40～59歳：0名、 60代前半：1名、60代後半：1名、70代前半：1名、70代後半：6名、80歳以上：2名
個別テーマ	<p>① う・ら・ら(移動ニーズ(9時台～10時台の緒川方面)、キャッシュレス決済)</p> <p>② 知多バス(東ヶ丘団地線の平日・休日利用、刈谷中部空港線の利用)</p> <p>③ 19時台～21時台の移動ニーズ(夜間定額乗合タクシーの利用可能性)</p>
主な意見	<p>① 四国に行った際にバスに乗車した。住宅地の中はフリー乗降(バス停がなくとも、運転手に伝えることで乗降が可能)でとても便利だった。町のバスにも導入できないか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ 運転手の負担が大きいこと、後続車両から見たら「いつ停車するか分からないバス」の後ろを走ることになるため、追突事故の危険性は上がることから東浦町での導入は現実的ではない。乗るところが決まっているのなら、そこにバス停を追加すれば良い。 <p>② 生路・藤江地区には用がないため、環状線でわざわざ遠回りして緒川駅に行くことがない。緒川新田地区で折り返すような運行をしてほしい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ 緒川新田地区から要望があり、上高根台にバス停を置いたため、折り返

	<p>しする場所がなくなり、経路が環状線となった。上高根台に停車しない経路であれば可能になる。事業者との調整も必要であるが巽ヶ丘駅を含めた経路なども考えられる。</p> <p>③ 巽ヶ丘駅に乗り入れて欲しい。平日は「巽ヶ丘駅前」9時45分発が終わると、次便が16時41分発になる。午前中に出かけて、帰ってくる便があると良い。</p> <p>④ 東ヶ丘団地線は「巽ヶ丘駅前」9時45分発の便は利用が少ない。例えば、9時15分発の便の運行が終わった後、東ヶ丘団地線のバスに「う・ら・ら」として緒川駅まで運行してもらえないか。そうすることで、「う・ら・ら」が運行していない9時台～10時台の緒川方面の移動を担うことができるはずである。</p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ 現在、昼間は営業所に戻っているため、運転手を確保できるかが問題になる。また、本来と異なる運行をお願いすることになるため、町からの委託費などが追加で必要になる。 ➤ 東ヶ丘団地線を「う・ら・ら」として運行することを検討していく必要もあるだろう。「う・ら・ら」との乗り継ぎも考慮するべきである。また、運賃を100円とすると、減額した分の収入を町が補填するような補助が必要になる。 <p>⑤ 刈谷豊田総合病院への通院で利用している。バスが大きく遅延した際に乗り継ぐことができなかった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ 15分程度の遅延であれば朝の通院便に限り、車両を待機して調整するように運行事業者へ依頼している。
アンケート	<p>① 上高根台でバスが折り返しできるようにすることが大事だと思った。</p> <p>② 巽ヶ丘駅への乗り入れは民間事業者との関係で難しいと思うが、一本化(乗り入れ)には興味がある。</p> <p>③ 相生に住む子ども達が卯ノ里小学校に通学することで、バスによる制限は少なくなる気がする。</p> <p>④ バスダイヤを構成していく際には、住民の買い物(午前中と午後に町内のスーパーへ行って帰る)と通院(朝一番に行って昼までに帰る)を中心に置いていただきたい。</p> <p>⑤ 現在は自家用車を使用している。東海市寄りに住んでいるため、「う・ら・ら」に乗って、東浦の方面に行きたい。</p>

4 片葩小学校区

開催日時	令和5年7月16日(日)午後1時30分～
開催場所	石浜コミュニティセンター
対象	片葩小学校区の住民
参加者数	6名

年代別	学生：0名、18～39歳：0名、40～59歳：0名、 60代前半：1名、60代後半：1名、70代前半：2名、70代後半：0名、80歳以上：2名
個別テーマ	① う・ら・ら(移動ニーズ、東浦高校線の利用、キャッシュレス決済) ② 19時台～21時台の移動ニーズ(夜間定額乗合タクシーの利用可能性)
主な意見	<p>① 知北霊園に乗り入れてほしい。公共交通に乗り継ぎながら知北霊園に行っている。行きは「げんきの郷」で仏花を購入してから大府市循環バス「ふれあいバス」に乗車して、帰りは知北霊園から「東浦知多インター東」までは徒歩で、そこから「う・ら・ら」で移動している。この徒歩の区間が少し大変になってきたので「う・ら・ら」が知北霊園に入るとありがたい。</p> <p>② 石浜駅に乗り入れて欲しい。石浜駅まで遠いわけではないが、坂があるので大変である。駅周辺には耳鼻咽喉科のクリニックもある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ➢ 石浜駅は利用が非常に少ないため、環状線を導入したダイヤ改正の際に「石浜駅」のバス停を撤去した。この区間で石浜駅までの移動を実現するとなると、シニアカーと置き場を整備して個人で移動してもらうか、グリーンスローモビリティ(低速電気バス)を地域の方に運転してもらおうといった方法がある。 <p>③ 「東浦高校線(文化センター経由)」は導入時に、乗車定員(11人)を超えたため、乗車をお断りすることが続いた。この不安により使わなくなったのか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ➢ それもあるだろう。ただ、周りの方々は時刻表の読み方が分かっていない。げんきの郷まで連れて行ってほしいと言われ、案内したことがある。 <p>④ この地域は刈谷豊田総合病院に行かれる方が多い。また、午前の診療が終わり、刈谷豊田総合病院から帰る際、(11時44分発に)間に合わないと次が2時間後(13時39分発)になる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ➢ 刈谷市内は刈谷市の公共施設連絡バス「かりまる」が運行しているため、刈谷駅からJR経由で緒川駅や石浜駅までは移動できる。 ➢ どうしても早く帰りたい場合はタクシーを利用することがある。 ➢ 「う・ら・ら」の回数券は金券としてタクシーの支払いに利用できるため、こちらも活用していただきたい。 <p>⑤ 病院には行かないが、げんきの郷の温泉に行く。車で行くとお酒が飲めないのがネック。</p> <ul style="list-style-type: none"> ➢ 町の方でおでかけプランをつくるので、町内会などで実際に活用していただきたい。 ➢ 面白かった体験や便利なことを共有、広めていくことが大事である。
アンケート	<p>① 乗り方教室で経験してもらおう(お試し乗車券を配付すること)は良いことだと思う。</p> <p>② 飲み会だけでなく、女性向けにバスでお風呂へ行く企画もアリだと思う。</p> <p>③ 「う・ら・ら」で石浜コミュニティセンターからげんきの郷まで移動し、昼飲みし</p>

	て帰ってきたい。 ④ 案内広告をするのも良いのではないか。(例えば、東浦町内の飲食店へ昼食又は昼飲みをする場合は、行きは石浜コミュニティセンター午前何時発の「う・ら・ら」、帰りは午後何時の「う・ら・ら」を使うと便利。のように)
--	--

5 石浜西小学校区

開催日時	令和5年8月5日(土) 午前10時～
開催場所	県営東浦住宅集会所
対象	石浜西小学校区の住民
参加者数	10名
年代別	学生：0名、18～39歳：0名、 40～59歳：2名 、60代前半：0名、 60代後半：2名 、 70代前半：2名 、 70代後半：2名 、 80歳以上：2名
個別テーマ	① う・ら・ら(移動ニーズ、東浦高校線の利用、キャッシュレス決済) ② 19時台～21時台の移動ニーズ(夜間定額乗合タクシーの利用可能性)
主な意見	① コロナ後に県営住宅に引っ越した。免許を返納して普段は歩いて、JRで半田市のほうに通っている。「う・ら・ら」はいつも使って東浦駅まで行くが、 帰りは時間が遅い(バスがない)ので歩き 。お客さんが増えてきたという感じがある。 ② 車を運転しなくなって3年。今までバスに乗っていなかったのが、大変だった。やっと慣れてきたが、時刻表の見方がわからない 。一緒に乗り合わせた人は自分で時刻表を作っていた。 ③ 足が不自由なので、乗り換える際に段差につまずいたことがある。それ以降、乗車口の高いバス(ハイエース)には乗れない。 ➢ 狭路を走るために小さい車を導入するとバリアフリーにならないことや、乗車人数が少なくて乗り切れないことがある。しかし、バリアフリー対応の大きいバスだと狭路にバス停をおけない。再度、運行事業と検討する。 ➢ 石浜コミュニティセンターに行く小さいバス(ハイエース)は利用が多くて乗れないことがあったので、 大きいバスの停まるバス停まで歩いている 。 ④ 長寿医療研究センターで午前中の診療が終わった後の帰りの便を増やしてほしい。タクシーを利用すると2,000円ほどかかってしまうため、バスを待つしかない。 ⑤ 知人は刈谷市まで通勤している。(令和元年10月のダイヤ改正以降、)朝一番のバスが石浜駅に行かなくなったため、緒川駅まで自転車で行くようになった。 通勤用に朝早い便と、退勤便にもう1便ほど遅い便があると良いのではないか 。 ➢ 運転手の労働時間による制限があり、現在の1人体制では実現できない。町の負担が大きくなるが2人体制での運行が可能であれば実現でき

	<p>るだろう。なお、運行委託のうち人件費は6割程度といわれている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ また、「う・ら・ら」を導入する際に、「通勤」か「高齢者の通院・小学生の通学」のどちらをとるかの議論になった。本来、通勤に係る費用は雇用者側が通勤手当として出ているが、「う・ら・ら」はコミュニティバスとして運賃100円で運行しているため、費用負担の大部分が雇用者ではなく町になる。そのため、病院や小学校に通う利用者を重視する現在のダイヤとなった。 ➤ 石浜駅は他の駅に比べて利用が少なかった。団地から徒歩や自転車でいってしまうため、バスで行って乗り換える人が少なかった。武豊線は30分に1本運行しているが、石浜駅の発着時間に合わせて「う・ら・ら」を運行できないことも理由の一つである。 ➤ 地域で運転手を雇って短距離移動用に使っているところもある。石浜駅へのアクセスを考えた場合、石浜地区だけまわる小さい車(グリーンローモビリティ)を運用することも考えられるだろう。予約をすれば駅や住宅を回ることもできる。1日当たり3万円くらいの費用を地区でねん出してもらえればできるかもしれない。 <p>⑥ バス停「芦間」から「石浜コミュニティセンター」に向かう右折は、信号がないので時間がかかる。この時間をカットできれば「石浜駅」にも入れるのではないか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ 「石浜コミュニティセンター」に寄らないのであれば、石浜駅の西側にある交差点「石浜駅西」から右折する方法もあるが、石浜駅西の交差点から片葩小学校に進む道路は時間規制(7～9時、15時～17時)があるため、この経路は現実的ではない。 <p>⑦ 自家用車が使えないため、「う・ら・ら」は買い物や病院、名古屋に行く際に利用している。病院の診療時間はバスにあわせて予約を取るが、帰りの時刻が読めないことが多いため苦労している。</p>
アンケート	<p>① 今のダイヤはとても使いやすくて良いと思う。欲を言えば朝、夜、少し長いと嬉しい。15時以降も運行の間隔が短くなればと思う。</p> <p>② オススメスポットは、「石浜駅西」交差点にあるルンビニカレーハウスというカレー屋さん。</p> <p>③ 特別支援学校の子供たち(自立通学している子)のために、乗り換えの時の分かりやすさ(並ぶ列やどのバスが乗り換えバスなのかの番号など)をもう少し追求してください。</p> <p>④ キャッシュレスには、回数券(1,000円で11回分の乗車券)のようなお得感はない。</p> <p>⑤ 19時台～21時台の移動ニーズは少し早い時間に感じる。飲み会などに利用するのであればもう1時間遅い時間帯が良い。でも利用する方は少ないと</p>

	<p>も思う。</p> <p>⑥ 公共交通だと半日にできる用事が1日仕事になる。</p> <p>⑦ 石浜から団地までの道路はせまいため、小さい車を出しているが、(乗車する際に)段差が高いので大変。</p> <p>⑧ 石浜駅にも乗り入れて欲しいという意見が多かった。JR に乗り継ぎするには東浦駅・緒川駅からが便利が良い。</p>
--	--

6 生路小学校区

開催日時	令和5年7月16日(日)午後3時45分～
開催場所	生路コミュニティセンター
対象	生路小学校区の住民
参加者数	9名
年代別	学生：0名、18～39歳：0名、 40～59歳：1名 、60代前半：0名、 60代後半：3名 、 70代前半：2名 、70代後半：0名、 80歳以上：3名
個別テーマ	<p>① う・ら・ら(移動ニーズ、東浦高校線の利用、キャッシュレス決済)</p> <p>② 19時台～21時台の移動ニーズ(夜間定額乗合タクシーの利用可能性)</p>
主な意見	<p>① ラジオ体操を一緒にやっている友達に聞くと、行きたいところは自分で調べて、上手に移動していると言っていた。また、小さいバス(ハイエース)が運行するようになって便利になったとも言っていた。</p> <p>② 知北霊園に行く際、げんきの郷で花を買ってから、大府のバスに乗り換えて行っている。帰りは「東浦知多インター西」から「う・ら・ら」に乗っている。</p> <p>➤ 知北霊園に乗り入れるとなると、バス停「東浦知多インター西」から知北霊園まで往復8～10分程度かかるだろう。1便当たりの所要時間が伸びると減便になるため、優先順位をよく考えて決めなければならない。</p> <p>③ 免許を持っていないため、いつも「う・ら・ら」を利用している。刈谷に行くのにも使っている。</p> <p>④ ゴルフ練習場(サンテックゴルフ JJ9)の近く、生川尻までバスは入って来れないのか。</p> <p>➤ 狭路かつ折り返せる場所がないことや、踏切を越えるとなると遅延が発生する可能性が高く、全体の減便に繋がる。地域で運転手を雇って短距離移動用の車両を運用することも考えてみてはどうだろうか。</p> <p>➤ 現在、狭路に乗り入れることができる小型のバス(ハイエース)は「ふじが丘」を運行している。ふじが丘には福祉施設があり、ここで就労している方に利用いただいている。1日2.5人ほどの利用がある。</p> <p>➤ ふくし課が短距離移動用の移動サービスを検討していると聞いているため、調整していきたい。</p> <p>➤ 東午新田、西午新田の地域も高齢化が進んでいるため、バスが来ると</p>

	<p>良いねと話していた。移動サービスができるなら、コミヤへ行く日が1週間に1回でもあると良い。</p> <p>⑤ 耳鼻科(耳鼻咽喉科みやこクリニック)に行くため、石浜駅まで行ってもらいたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ 石浜駅は利用者数が少なかったため、乗り入れを廃止した。緒川駅または東浦駅から JR 武豊線経由で行くことができる。 ➤ 地域の方で運転手を確保し、グリーンスローモビリティ等で住宅地と石浜駅を繋ぐような運用をする方法もあるだろう。
アンケート	<p>① きわめてローカルな問題点と要望を聞いていただいたのはありがたいと思った。</p> <p>② 利便性を追求していくうえで、「便数」と「1便あたりの所要時間(よりローカルなバス停を設置すると伸びる)」との調整が難しいことが改めて分かった。</p> <p>③ グリーンスローモビリティが生路の道路状況には合うと思った。</p> <p>④ 墓参りに行きたいと言われるのは、その方の生活の一部になっているからだと思う。住民の日常を支えるのがコミュニティバスの役割だと感じる。</p> <p>⑤ 高齢者の方がイオンモール東浦に出かけるのは、買い物よりも健康のためという話をよく聞く。</p> <p>⑥ 免許を返納した後にすぐ「う・ら・ら」に乗ることができるのか。今日の話聞いて強く感じた。まずは時刻表を手にして、実際に乗ってみたい。</p> <p>⑦ 日頃思っていたことを要望として伝える場に出ることができて良かった。「う・ら・ら」でお墓参りにいけるよう、体力づくりに努めたい。</p> <p>⑧ 具体的な話し合いができてよかった。今は生路コミュニティセンターの前の道路を拡幅して、大型バスが運行できるように地権者にお願いしている。</p>

7 藤江小学校区

開催日時	令和5年7月15日(土)午後3時45分～
開催場所	藤江コミュニティセンター
対象	藤江小学校区の住民
参加者数	8名
年代別	学生：0名、18～39歳：0名、 40～59歳：1名 、60代前半：0名、 60代後半：2名 、 70代前半：2名 、 70代後半：1名 、 80歳以上：2名
個別テーマ	<p>① う・ら・ら(移動ニーズ、キャッシュレス決済)</p> <p>② 19時台～21時台の移動ニーズ(夜間定額乗合タクシーの利用可能性)</p>
主な意見	<p>① 「う・ら・ら」が巽ヶ丘駅につながれば、便数が多いため、平池台の方が名古屋に行きたいときには利用されるのではないかと。</p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ 巽ヶ丘駅につなげる場合、環状線のままでは1便あたりの所要時間がかなり長くなってしまいうため、平池台やマルス東ヶ丘店で区切り、東ヶ丘の

方に異ヶ丘駅をつなげることになるだろう。

- 異ヶ丘駅は便数が多いので、名古屋に行くには使いやすい。ただ、行く回数は少ない。
 - 大学生は定期代が安く、JRは遅延が多いので名鉄を使う。平池台から異ヶ丘駅に向かう道には歩道がない。そのため、自転車では危ないので送迎している。特に朝が困っている。
- ② 「う・ら・ら」で大府市や刈谷市の商店街まで行けるとよい。
- 長寿線や刈谷線、JRを利用した後、各市のコミュニティバスに乗り換えて行くことができる。刈谷線の沿線で降りたい箇所などがあれば、新設バス停を刈谷市や各事業者と調整のうえ、設置することも検討できる。
- ③ 「う・ら・ら」から東浦駅の乗り換えがうまくいかない。
- 「う・ら・ら」は、「う・ら・ら」内での乗り換えを緒川駅で行えるようにダイヤ調整しており、JRと「う・ら・ら」を合わせるのは至難の技。
 - 東浦駅から緒川駅に行く間に、電車が追いつくので、緒川駅では時間が合うこともあるかもしれない。どちらかの駅でトイレ休憩の時間を作るなどして調整していただけるとありがたい。
 - 東浦駅に早く行ける交通手段がほしいということであれば、地域で運転手を確保して、藤江地内まわる交通手段をつくることもできる。
- ④ **環状線(左回り)の経路を、「守宮橋」の交差点を直進し、須賀川沿いに南下、前田クリニックの前を通るように西に進み、現行の環状線のルートに合流するのはどうだろうか。**住宅地を通るため、バス停を新たに設けることができれば新規の開拓ができるのでは。
- 安全な場所があればバス停も増やせるだろう。検討していきたい。もし本経路を導入できれば、藤江小学校の登下校使用のバス停も学校近くに置ける可能性がある。
- ⑤ コノミヤの中にバス停があるとよい。
- 駐車場に入るとなると時間がかかることや、事故リスクが増加するため、**片方だけでも道路沿い(コノミヤ近く)にバス停が置けないかを再検討**していきたい。
- ⑥ 名古屋での買い物などをゆっくりできるので、**最終便は19時台があるとよい。**
- 夜間はバスの運転手の労働時間が厳しいのでよほど利用が見込めないと走らせない。なお、知多バスが運行していた時は21時台、「う・ら・ら」の導入当初は20時台までであった。
 - 定額の夜間タクシーを導入すれば利用する可能性はあるか。
- ⑦ 「う・ら・ら」は障害者手帳を提示すると無料で乗車できるが、手帳を友だちに見られたくないという生徒もいる。
- マイナンバーカードとの連携が済んでいれば、ミライロIDのアプリ(スマ

	ートフォン)を提示することで乗車できる。
アンケート	<ul style="list-style-type: none"> ① 町運行バス「う・ら・ら」の現状が分かった。 ② 藤江地区内に「う・ら・ら」のバス停を増やしてほしい。 ③ 高齢者の利用が多いため、65歳以上の高齢者に無料券を発券するなどの補助を出すことで、利用が増えるのではないか。 ④ 緒川駅でJRとの乗り継ぎ利便性を高めると良い。